

エジプト文字で名前を書く

2

塚本明廣 つかもあきひろ
佐賀大学教授

今回は、エジプト文字の真髄とされる表語文字と限定符について説明しよう。

表語文字は、文字で書きあらわされた事物、厳密にいうと、それに対応する語をあらわす用法である。規格化・様式化が進んだ現在の漢字ではわかりにくくなっているが、象形文字の段階の「目」「馬」「鳥」「魚」の例を思い浮かべてほしい。

限定符は、漢字の偏や冠と同じ働きをする。それ自身は発音されず、語の意味を暗示するだけである。その意味では、品詞を連想させる「決定詞」よりも、表記にかかわる符号であることを示す「限定符」の方が用語としてはよさそうだ。限定符は語末にくることが多いので、単語の切れ目を示すこともその重要な働きのひとつである。ただし人称接尾辞は限定符より後にくる。エジプト人がこれらの用字法を人名・地名の表記に用いた例は少なく、文字種も限られているが、それに縛られる必要はないだろう。エジプト語では正書法が確立されず、エジプト人は語のさまざまな表記を楽しんでいたようである。外来語であ

つても、普通名詞には限定符が自由に使われている。外来文化を改造し、仕立て直して、伝統文化が新たな活力源を得てきたことは、異文化交流の歴史に明らかである。文字の歴史もその一例にすぎない。

日本語を書きあらわす場合、かなではわからない同音漢字の違いを書き分けたり、漢字書きに備わった視覚情報を伝える手段として、表語文字や限定符が利用できる。さまざまな活動に従事する人物像や生活用具の類は、名刺の肩書き代わりに利用できるかもしれない。用例を参考にしてほしい。

最後に、筆記体の書き方を紹介しておこう。伝統的に神官書体・民衆書体(デモティック)とよばれてきた書体である。楷書・行書・草書に分ける漢字の三分法に倣えば、それぞれに、聖刻書体・神官書体・民衆書体を当てることができる。聖刻書体が右から左からも、そして縦横に書かれたのに対し、筆記体とりわけ民衆書体は、ふつう右から左に横書きされる。現在では時代・地域・内容に従って細分されており、神官書体と

民衆書体との境界を字形でスッと区切ることはできない。神官書体が、横書きの場合ほとんども、一字ずつ分けて一筆か二筆で書くのに対し、民衆書体は数文字を続けて書く傾向が強く、しかも字形が紛らわしい、というのが大まかな書体の違いである。決まり文句の多い定型文書を記したと無縁ではないと思われる。その一方で、民衆書体は口語を反映した新しい綴りが増えている。

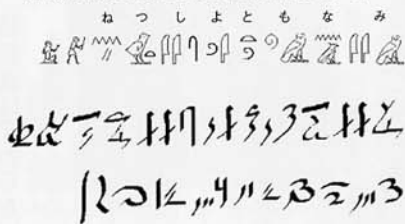
これらの書体を用いて名前を書くとき、神官書体は聖刻書体を一字一字置きかえるだけで、むしろ民衆書体は続け字がもたらす、どう続け、どう崩すかが難しい問題である。例示したとおり、同じ単語でもさまざまな崩し方があるのだ。

なお用例は、筆記体に合わせ、右から左に書かれている。読み書きする方向にもなると、聖刻書体の鳥や蛇など、文字の向きも逆になる。また「な」や「と」などの文字が、前回五〇音図に示した文字と異なり、子音が上に、母音が下に置かれているが、配置も自由である点に注意。

3書体による同一人名と固有名詞の表記例

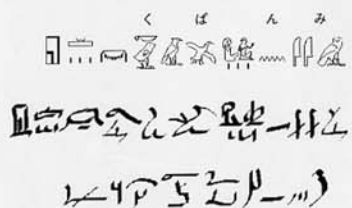
源義経

(各書体の最後の2文字は、武人・男性の限定符として用いた)



民博

(語中の男女は表語文字、その前はふりがな、3本棒は複数を示す限定符、語末の4字は、黄金・巻物・複数・殿堂を意味する限定符)



ロセッタストーン複製 (標本番号 H37549)

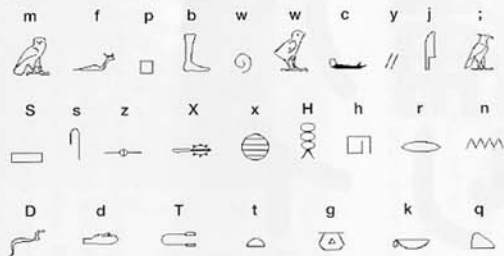
【参考】

塚本明廣「エジプト文字」『言語学大辞典別巻世界文字辞典』(三省堂)
読者の幅広い関心に応える入門書として、加藤一朗「象形文字入門」(中公新書)
標準的な字形の聖刻書体を網羅した表が、下のサイトで見られる。
<http://www.arconet.net/au/vincent/signlist.htm>
神官書体については、次のサイトが役に立つ。
<http://home.pcn.org/sfyer/hiatic>

3書体による単子音表音文字一覧表 いわゆる「エジプトのアルファベット」

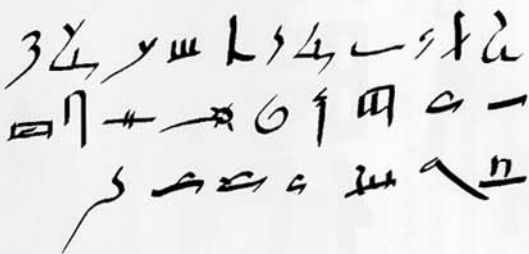
聖刻書体

(1行目の右から3番目と6番目は、直前の文字の変種。6番目は、5番目の神官書体から派生)



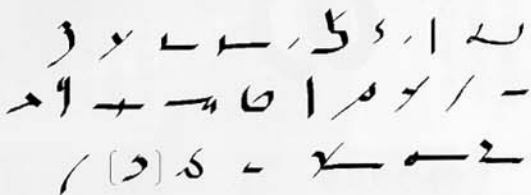
神官書体

(上に同じく右から左へ読む。1行目最後の2文字は、どちらもm)



民衆書体

(上に同じ。2行目でrの後に新たにlが加わり、3行目[]内のdは続け字の一部)



民衆書体表記例

(r m T「人びと」の綴り。右端の聖刻書体は表音文字で r T と綴られ、m が欠けている。古王国時代の墓壁の綴りやコプト語には m が存在する。2人の人物像は、それぞれ男女を象った表語文字であり、人物像の下に3本棒は、複数を意味する限定符である。その他はいずれも民衆書体で書かれた同じ単語の綴りで、エリックセン編集の辞典からいくつかの用例を模写したものである。どれほど大胆に崩されるか、確認されたい)

